

諏訪市文化センター大規模改修 反響板の設置、緞帳の保存・活用に関する市民向け報告会 議事録要旨

開催日時・会場・参加人数

開催日時 令和6年8月25日(日) ①14時から15時 ②18時から18時30分

会 場 駅前交流テラスすわっちゃオ 第1～3会議室

参加人数 ①15人 ②5人

※②の時間枠で YouTube ライブ配信を実施(9月1日(日)までアーカイブ配信)

※YouTube の動画視聴回数 67 回、ライブ配信中の同時視聴者数 14 人

反響板の設置、緞帳の保存・活用に関する報告について

①【昼の部】14 時～15 時

■説明に対する質問

【発言者】

音響調査はどういう予算で費用はいくらなのか。

【教育次長】

音響調査については、実施設計業務等の補正予算として6月議会に調査費用を計上させていただいて、議会にお認めをいただいています。額としては、37万4000円です。

【発言者】

反響板を設置したとしても利用率が20%弱なのであれば、リハーサル室や楽屋に防音機能を持たせる必要はないのではないのか。

【教育次長】

基本設計の中で利便性を上げるという視点で防音機能の部屋を用意しようと計画しています。電子音響設備を使った音楽というのはホールで行われますので、そこも考慮した上で防音機能の部屋を基本設計で固めさせていただき、実施設計でもその方向で進めております。

【発言者】

反響板を設置しないという決定に至るまでに、例えば基本設計の説明会で行った39億4000万の中身など、内容の精査はどうなっているのか。

【教育次長】

39億4000万円の内容ですが、設計事業者と市の技術担当で精査をさせていただきました。基本設計においては、これまで説明会等を開催する中で、耐震や長寿命化、機械設備、電気設備、その他諸経費等それぞれの概算費用をお示しさせていただいています。その際、反響板については別途1億円かかるということもご説明申し上げ、本日の判断結果に至っております。

いずれにしても、実施設計がある程度見えてまいりましたら、市民と議会の皆様に詳しく説明させていただきたいと考えています。

【発言者】

エネルギー棟がなぜ必要なのか。

【教育次長】

文化センターの利便性や快適性を上げるということが大事な視点であるという中で、今ある空間をいかに部屋として使えるようにするかということを考えました。楽屋やリハーサル室など、様々な空間を用意したいという中で、機械設備や電気設備を屋外へ出してエネルギー棟の中に集約するという計画で進めております。

【発言者】

建物の中に入れなくてもいい設備などもあると思うが、その辺の精査ができていないのではないのか。

【教育次長】

既存の屋内に設置されている電気設備と機械設備を外に出すためには、屋根や囲いは必要になるので、棟として新しく作るということになります。また、その地下には消火水槽を入れるという計画になっており、基本設計の説明会の際もご説明申し上げたとおり、そこをエネルギー棟として活用していくという計画になっています。

【副市長】

本日は反響板と緞帳の保存活用に関する報告ですので、市の設計担当、財政課の設計担当に同席させておりません。先ほどのご質問に対して少し説明が不足しているかもしれませんが、その点はご容赦いただければと思います。

また、反響板を設置するのか、しないのかということは、生演奏を聞かせたいという音楽活動に対して影響があるものであり、例えばロックバンドや歌謡ショーなどについては、反響板がなくても電気音響設備によって音響を作ることができます。そういった方々も楽屋で準備することが想定されますので、反響板を設置しなくても、防音設備のある楽屋は必要だということになります。

【発言者】

担当職員がいなくてもある程度の概要は把握していなければならないのではないのか。

【副市長】

文化センターに新たに防音のリハーサル室や楽屋を作るスペースを確保するためには、文化センターの建屋の外にエネルギーに関する部分を持ち出す必要があったということです。その部分をむき出しにしないために、エネルギー棟という建屋をつくる必要があるということになります。

【発言者】

外へ出すことは分かるが、防水タイプもあるので電気設備も空調設備も必ずしも建屋の中に入れなければならないものばかりではないと思う。全てのエネルギー設備を建屋に入れなければ、もっと小

さな建屋で済む。そうすることによって、例えば想定しない工事費が発生したときに予算をプールしておくなども可能で、予算を最小限に抑えることができるのではないか。

【副市長】

繰り返しになりますが、本日は反響板と緞帳の説明会ということで設定をさせていただきました。今いただいた建屋のエネルギー棟についてのご質問については、別途、別の場で回答する場を作らせていただいてもよろしいでしょうか。

【発言者】

今日は反響板と緞帳の話だが、トータル的に全て絡んでいる話ではないか。ただ単に反響板と緞帳の話を取り取って説明会をしても市民は納得しない。

【副市長】

冒頭の説明で申し上げましたが、前回の基本設計の説明会の中で反響板の設置と緞帳の保存・活用について、市民の皆様からお声をいただきましたので、それについて報告会をするという約束に対応する場が本日になります。市民の皆様とのお約束でこの場を開いていますので、そこはぜひご理解いただければと思います。

【発言者】

では、この質問はいつどこでしたらいいのか。

【副市長】

基本設計については、議会も含めてお認めをいただいたと考えています。基本設計の内容について市民からのお問い合わせがあれば、個別にお答えしていきたいと思います。今のご質問についても、また改めて担当部局から説明するということができればでしょうか。

【発言者】

私個人に説明しても仕方ないので必要ない。

【発言者】

杉山寧さんの「昇る陽」の原画が、諏訪市の美術館にあるということを初めて知ったが、今どんな状態で保存されているのか。

【生涯学習課文化芸術担当課長】

「昇る陽」の原画については、諏訪市美術館の収蔵庫に保管しており、機会があるごとに収蔵作品展の中で市民に公開をしているところでございます。

■説明に対する意見

【発言者】

昨今、地震が危なくなってきているので、1日でも早く改修工事に着工していただき、避難所としての完璧な姿でなくても、せめて施設の中に入って避難ができるという体制を早く整えていただきたい。

【発言者】

「昇る陽」の原画があるのであれば、例えば、文化センターと関連付けてリニューアルと同時に写真みたいなものと原画を一緒に展示するなどしたら良いと思う。

②【夜の部】18時～18時30分

■説明に対する質問

特になし。

■説明に対する意見

特になし。